

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○読書をすすんで行う児童が多く、国語の学習を楽しんでいる児童が多い。 ▲言語についての理解や技能の個人差が大きい。	・習った言語や漢字を文章に取り入れ、書きたい事柄を論理的に順序立てて書く力	・日記指導や日々の学習において、書く活動を多く取り入れ、書くことに慣れさせていく。	
社会	○地域について興味をもち、意欲的に授業に取り組むことができる。 ▲資料の読み取り方の理解がまだ不十分で、テストでの間違いも目立つ児童がいる。	・資料を読み取り、考えや想像を広げる力	・資料から分かったことを整理し、気付いたことや予想されることは何か考える時間、交流する時間をつくる。	
算数	○子供達同士の学び合いができ、分からなかった問題を分かる子が教え、互いに高め合うことができている。 ▲全体的に量感が乏しく、発展コースの児童と補充コースの児童では考え方や計算の速さの差が大きい。	・問題文から場面を想像し、見通しをもって問題解決する力	・具体物、半具体物を提示したり、直接触れさせたりしてイメージをもたせる。	
理科	○観察や実験に興味をもち、取り組むことができる。 ▲観察して分かったことや気付いたことを、以前の記録や子供たち同士の観察カードと比べて考えることが不十分である。	・観察や実験などから分かったことを、比較して考えを深めていく力	・観察カードを教室に掲示して、いつでも友達との比較や振り返りができるようにする。	
音楽	○歌唱や器楽など様々な学習活動に意欲的に取り組むことができている。 ▲音楽の雰囲気の違いなど感じ取ったことや考えたことを言葉に表す力に個人差がみられる。	・音楽を聴いて感じ取ったことや考えたことを言葉で表現する力	・音楽を聴いて感じ取ったことや考えたことを全体で共有し、多様な言葉での表し方を獲得させる。	
図工	○意欲的に作品に取り組むことができる。 ▲発想や技能面でのつまづきで作品を完成まで作れない児童がいる。	・自分の発想力に自信をもって、意欲的に作品に取り組む力	・鑑賞の時間でお互いの作品を褒めあい、自己肯定感を高めしていく。	
体育	○運動が好きで、意欲的に取り組む児童が多い。 ▲学び合いができる児童が少ない。	・友達と関わり合いながら学び合いができる力	・グループ活動や友達と関わり合う活動を取り入れる。	